

II 病院報告

1 患者数

(1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

平成30年中における全国の病院の1日平均在院患者数は1,246,867人で、前年に比べ0.4%減少している。

このうち、「精神科病院」は214,956人で、前年に比べ0.8%減少し、「一般病院」は1,031,911人で、前年に比べ0.4%減少している。

一般病院の1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は69,361人、「療養病床」は281,799人、「一般病床」は679,070人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は39,239人となっている。

また、1日平均新入院患者数は44,826人、1日平均退院患者数は44,878人となっている。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の1日平均在院患者数は4,763人で、「療養病床」のうち「介護療養病床」は1,812人となっている。（表1、図1）

（参考）統計表12 年間患者数，病院の種類－病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

表1 1日平均在院・新入院・退院患者数

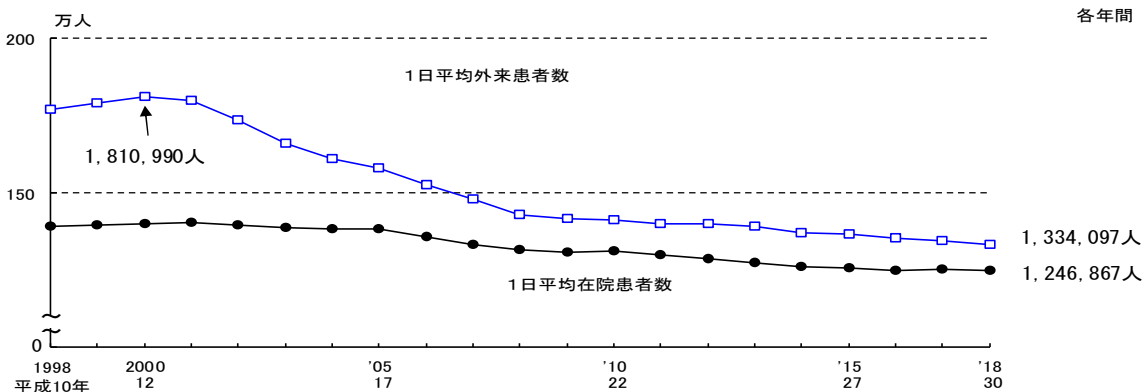
病 院	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数		
	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	対前年 増減率	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	対前年 増減率	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	対前年 増減率
	人	人	%	人	人	%	人	人	%
総 数	1 246 867	1 252 295	△ 0.4	44 826	44 444	0.9	44 878	44 411	1.1
精 神 科 病 院	214 956	216 654	△ 0.8	713	715	△ 0.3	718	721	△ 0.4
一 般 病 院	1 031 911	1 035 642	△ 0.4	44 113	43 729	0.9	44 160	43 691	1.1
精 神 病 床	69 361	69 624	△ 0.4	348	346	0.6	360	357	0.8
感 染 症 病 床	67	61	9.8	9	8	12.5	7	7	0.0
結 核 病 床	1 614	1 765	△ 8.6	25	27	△ 7.4	24	26	△ 7.7
療 養 病 床	281 799	287 418	△ 2.0	1 248	1 209	3.2	1 879	1 833	2.5
一 般 病 床 (再掲)	679 070	676 775	0.3	42 482	42 138	0.8	41 890	41 468	1.0
介 護 療 養 病 床 ¹⁾	39 239	45 272	△ 13.3	78	93	△ 16.1	107	121	△ 11.6
療養病床を有する診療所									
療 養 病 床 (再掲)	4 763	5 324	△ 10.5	34	39	△ 12.8	44	49	△ 10.2
介 護 療 養 病 床 ¹⁾	1 812	2 040	△ 11.2	11	13	△ 15.4	12	14	△ 14.3

注：1) 介護療養病床は療養病床の再掲である。

2) 途中で病院の種類が変更された場合、患者数は月末時の病院の種類別で計上している。

3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

図1 病院の1日平均患者数の年次推移



注：東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設（岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設）は、報告のあった患者数のみ集計した。熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設（阿蘇医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

(2) 病院の1日平均外来患者数

病院の1日平均外来患者数は1,334,097人で、前年に比べ0.9%減少している。

このうち、「精神科病院」は58,489人で、前年に比べ0.2%減少し、「一般病院」は1,275,608人で、前年に比べ1.0%減少している。(表2、図1)

人口10万対1日平均外来患者数は全国1,055.1人で、前年(1,062.8人)に比べ7.7人減少している。

都道府県別にみると、高知県(1,743.6人)が最も多く、次いで徳島県(1,485.6人)となっており、神奈川県(827.0人)、静岡県(835.9人)などが少なくなっている。(図2)

(参考)

統計表12 年間患者数、病院の種類一病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

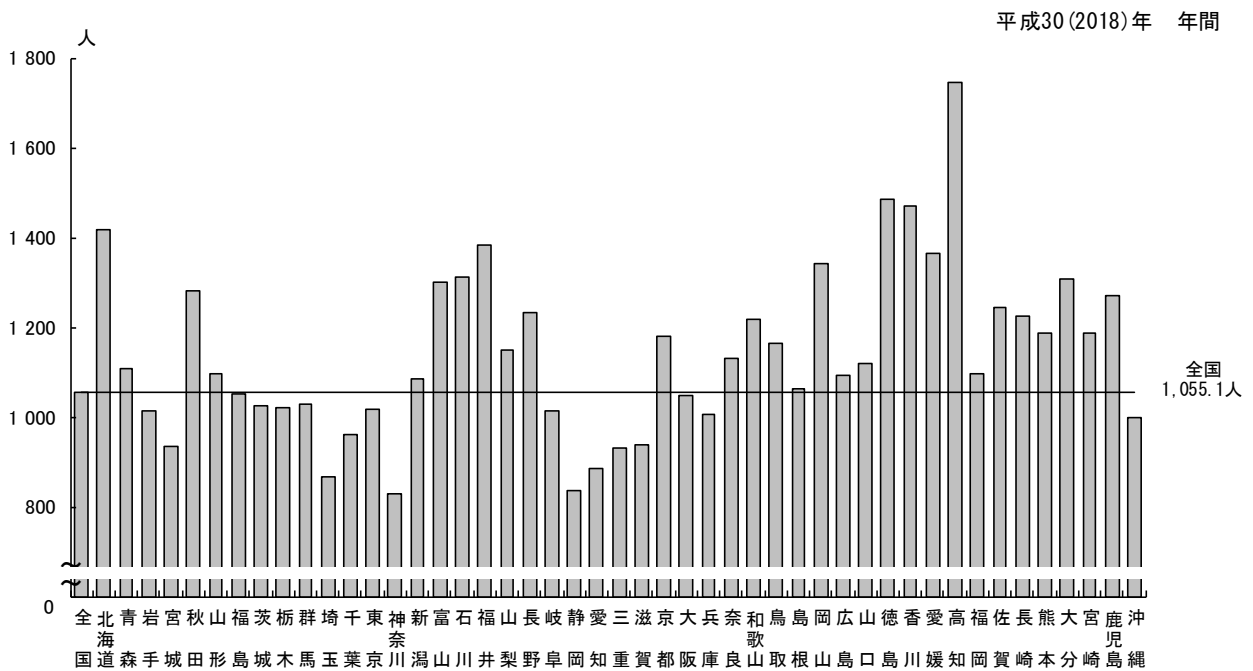
統計表14 都道府県一指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

表2 病院の1日平均外来患者数

病 院	1日平均外来患者数		対前年 増減率
	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	
	人	人	%
総 数	1 334 097	1 346 627	△ 0.9
精 神 科 病 院	58 489	58 603	△ 0.2
一 般 病 院	1 275 608	1 288 024	△ 1.0

注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

図2 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均外来患者数



注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

(3) 病院の都道府県別にみた1日平均在院患者数

病院の1日平均在院患者数について病床の種類別構成割合をみると、「精神病床」22.8%、「療養病床」22.6%、「一般病床」54.5%となっている。

これを都道府県別にみると、「精神病床」の割合が高いのは宮崎県(34.0%)、「療養病床」は高知県(38.7%)、「一般病床」は和歌山県(63.3%)となっている。(図3)

全国の人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、「精神病床」は224.9人で、前年(225.9人)に比べ1.0人減少しており、「療養病床」は222.9人で、前年(226.8人)に比べ3.9人減少している。「一般病床」は537.1人で、前年(534.1人)に比べ3.0人増加している。

これを都道府県別にみると、「精神病床」は鹿児島県(526.7人)が最も多く、次いで長崎県(497.6人)となっており、神奈川県(129.9人)、東京都(140.1人)などが少なくなっている。「療養病床」は高知県(828.2人)が最も多く、次いで山口県(594.6人)となっており、宮城県(122.1人)、岐阜県(128.6人)などが少なくなっている。「一般病床」は高知県(886.0人)が最も多く、次いで大分県(833.9人)となっており、埼玉県(382.8人)、神奈川県(392.4人)などが少なくなっている。「介護療養病床」は高知県(242.1人)が最も多く、次いで富山県(122.2人)となっており、山形県(1.8人)、宮城県(4.7人)などが少なくなっている。(図4)

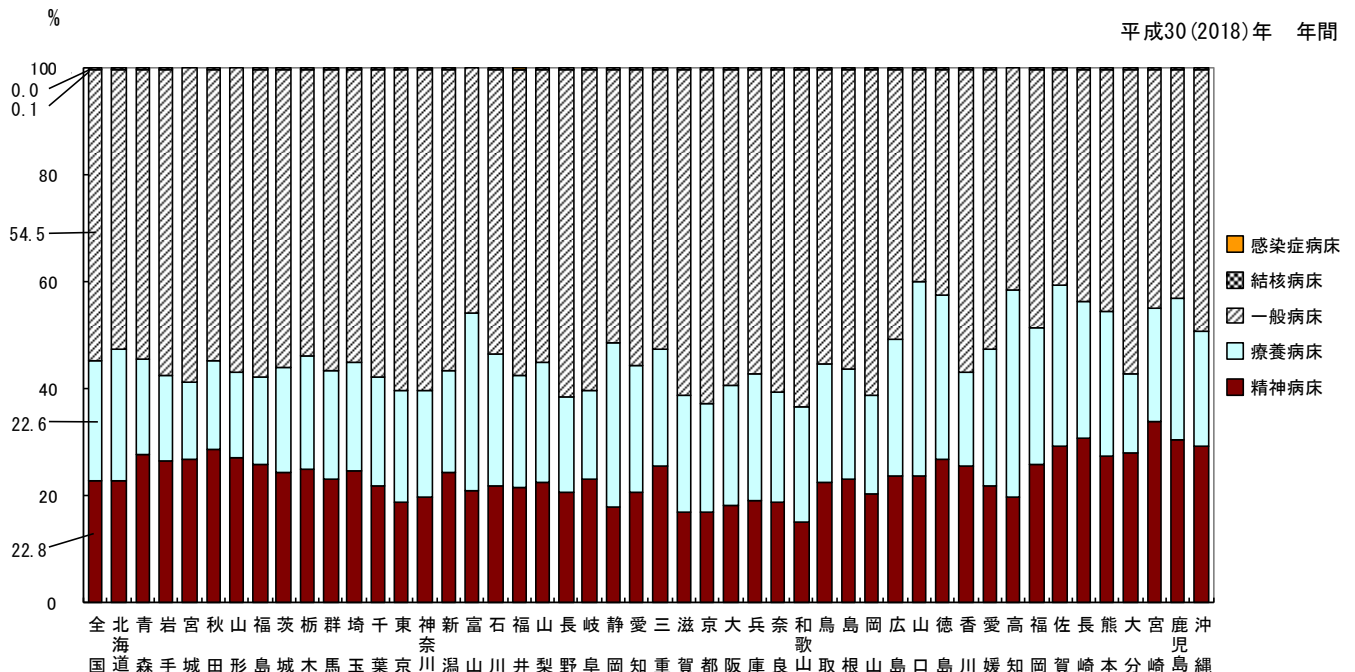
(参考)

統計表 13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

統計表 14 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数

統計表 16 都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合

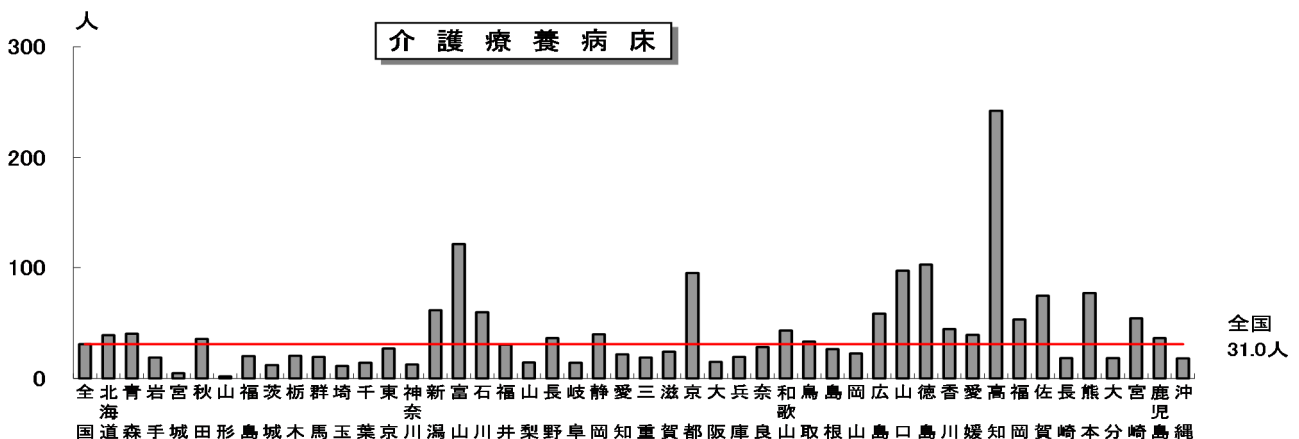
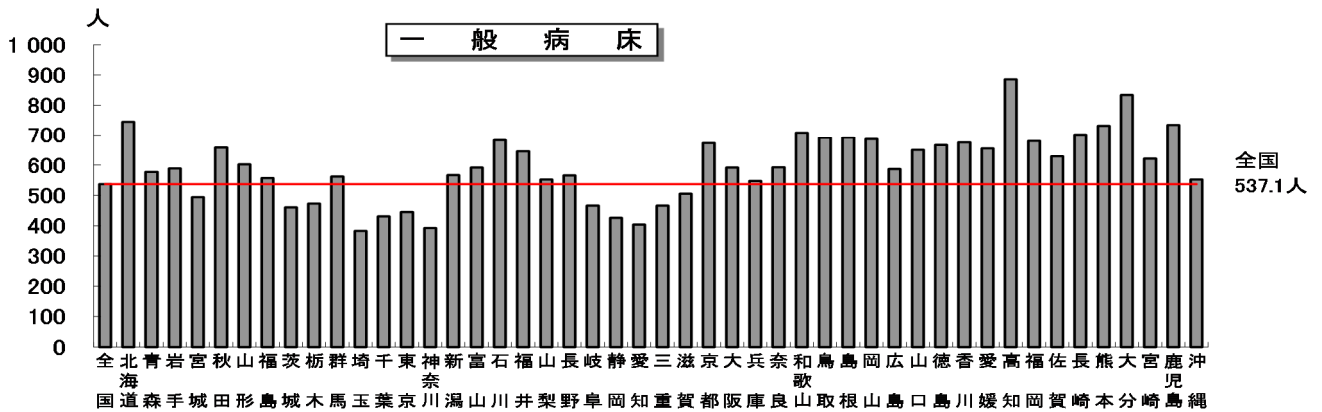
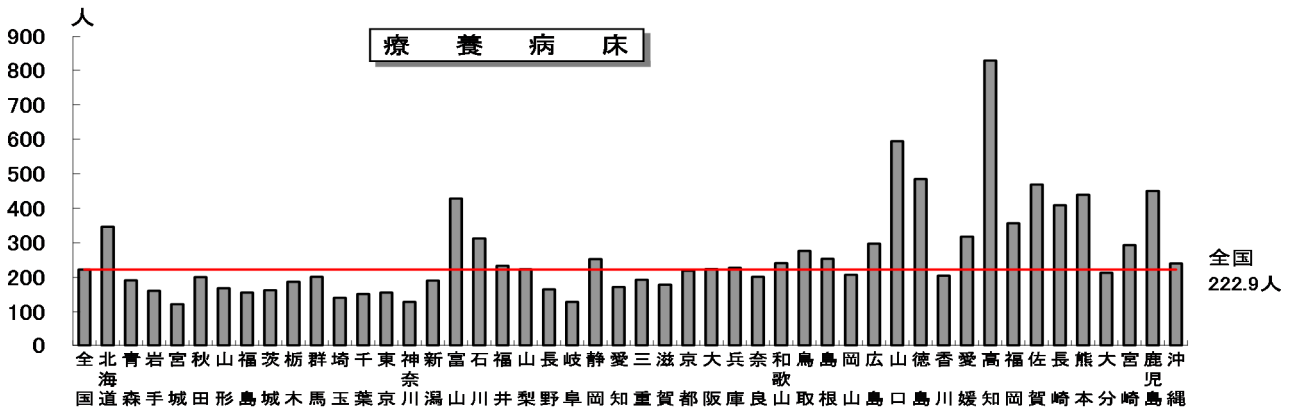
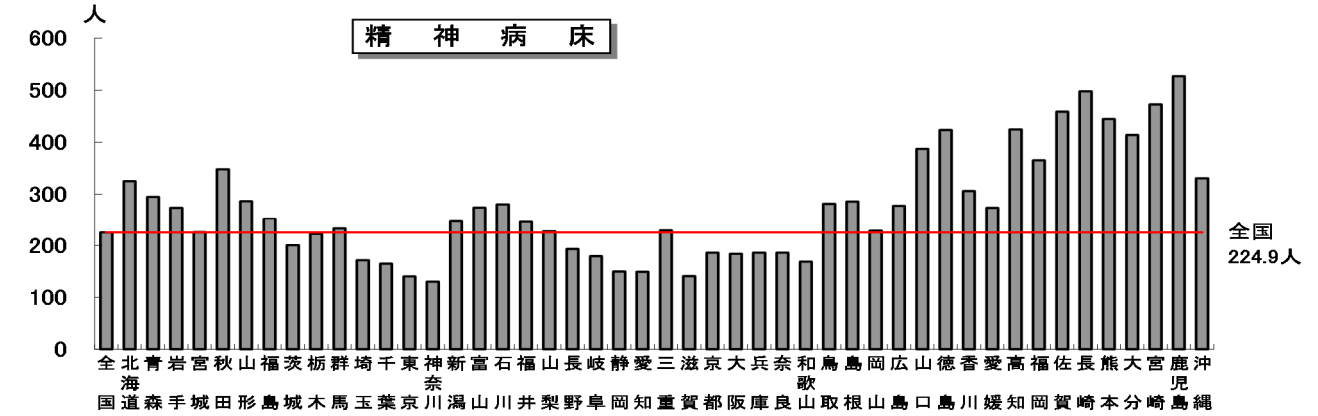
図3 病院の都道府県・病床の種類別にみた1日平均在院患者数の構成割合



注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

図4 病院の都道府県別にみた人口10万対1日平均在院患者数

平成30(2018)年 年間



注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

2 病床利用率

病院の病床利用率は 80.5%で、前年に比べ 0.1 ポイント上昇している。

病床の種類別にみると、「精神病床」は 86.1%となっており、「療養病床」は 87.7%で前年に比べ 0.3 ポイント低下している。「一般病床」は 76.2%で前年に比べ 0.3 ポイント上昇している。また、「介護療養病床」は 91.3%で前年に比べ 0.4 ポイント上昇している。

療養病床を有する診療所の「療養病床」の病床利用率は 56.5%で、「介護療養病床」は 72.3%となっている。(表 3)

(参考) 統計表 13 人口 10 万対 1 日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

表 3 病床の種類別にみた病床利用率

	病床利用率		対前年 増減
	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	
	%	%	
各年間			
病院			
全病床	80.5	80.4	0.1
精神病床	86.1	86.1	0.0
感染症病床	3.6	3.3	0.3
結核病床	33.3	33.6	△ 0.3
療養病床	87.7	88.0	△ 0.3
一般病床	76.2	75.9	0.3
介護療養病床	91.3	90.9	0.4
療養病床を有する診療所			
療養病床	56.5	58.3	△ 1.8
介護療養病床	72.3	73.0	△ 0.7

注：1) 小数点第 1 位の数値は、小数点第 2 位を四捨五入して表示している。

2) 平成30年 7 月豪雨の影響により、平成30年 7 月分、8 月分の報告において、広島県の病院 1 施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。

3 平均在院日数

(1) 病床の種類別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数は27.8日で、前年に比べ0.4日短くなっている。

病床の種類別にみると、「精神病床」は265.8日で前年に比べ1.9日短く、「療養病床」は141.5日で前年に比べ4.8日短くなっている。「一般病床」は16.1日で前年に比べ0.1日短くなっている。また、「介護療養病床」は311.9日で、前年に比べ3.0日長くなっている。

また、療養病床を有する診療所の「療養病床」は97.9日で、「介護療養病床」は132.2日となっている。(表4、図5)

(参考) 統計表 13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移

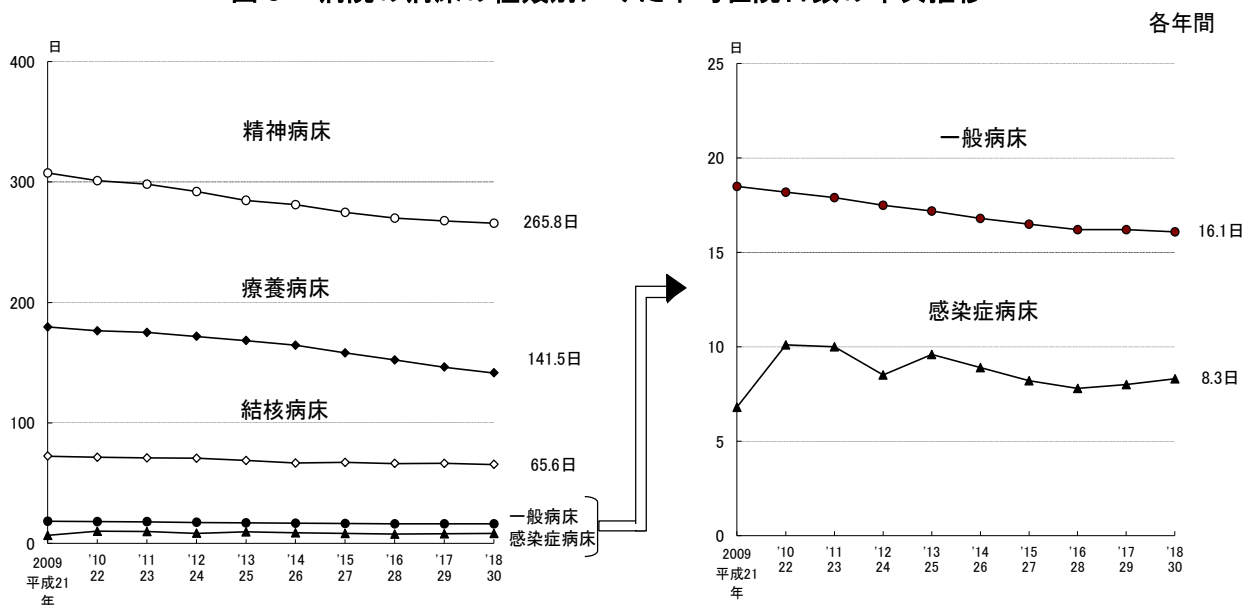
表4 病床の種類別にみた平均在院日数

(単位:日)	平均在院日数 ¹⁾		対前年増減数
	平成30年 (2018)	平成29年 (2017)	
病院			
全病床	27.8	28.2	△ 0.4
精神病床	265.8	267.7	△ 1.9
感染症病床	8.3	8.0	0.3
結核病床	65.6	66.5	△ 0.9
療養病床	141.5	146.3	△ 4.8
一般病床	16.1	16.2	△ 0.1
介護療養病床	311.9	308.9	3.0
介護療養病床を除く全病床	27.0	27.2	△ 0.2
療養病床を有する診療所			
療養病床	97.9	96.2	1.7
介護療養病床	132.2	125.9	6.3

注: 1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

2) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

図5 病院の病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



注: 東日本大震災の影響により、平成23年3月分の報告において、病院の合計11施設(岩手県気仙医療圏1施設、岩手県宮古医療圏1施設、宮城県石巻医療圏2施設、宮城県気仙沼医療圏2施設、福島県相双医療圏5施設)は、報告のあった患者数のみ集計した。
熊本地震の影響により、平成28年4月分の報告において、熊本県の病院1施設(阿蘇医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。
平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

(2) 病院の都道府県別にみた平均在院日数

病院の平均在院日数を都道府県別にみると、「全病床」は高知県(45.6日)が最も長く、東京都(21.8日)が最も短くなっている。「精神病床」は山口県(415.9日)が最も長く、東京都(188.8日)が最も短くなっており、「療養病床」は富山県(220.1日)が最も長く、長崎県(92.9日)が最も短くなっている。「一般病床」では高知県(21.4日)が最も長く、神奈川県(13.7日)が最も短くなっている。また、「介護療養病床」は秋田県(493.0日)が最も長く、山形県(72.2日)が最も短くなっている。(表5、図6)

(参考) 統計表 15 都道府県—指定都市・特別区・中核市(再掲)別にみた病床利用率及び平均在院日数

表5 病院の平均在院日数

(単位:日)

平成30(2018)年 年間

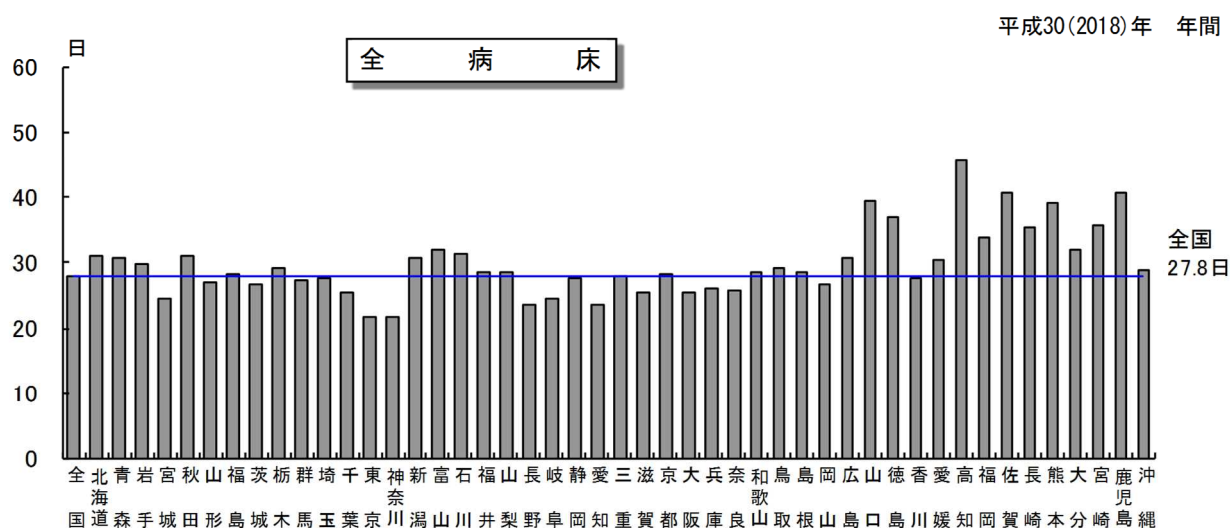
	全病床		精神病床		療養病床		一般病床		介護療養病床	
全国	27.8		265.8		141.5		16.1		311.9	
長い県	高 知	45.6	山 口	415.9	富 山	220.1	高 知	21.4	秋 田	493.0
	鹿 児 島	40.8	大 分	371.1	北 海 道	192.7	熊 本	19.7	沖 縄	459.9
	佐 賀	40.8	鹿 児 島	360.0	石 川	192.2	鹿 児 島	19.6	神 奈 川	451.2
	山 口	39.4	長 崎	357.1	京 都	189.4	大 分	19.4	宮 崎	436.1
	熊 本	39.1	徳 島	351.1	高 知	182.1	和 歌 山	19.0	山 口	416.9
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	
短い県	岐 阜	24.4	滋 賀	226.3	長 野	104.1	静 岡	15.2	山 梨	159.4
	長 野	23.6	福 井	226.3	大 分	102.9	宮 城	15.1	長 野	122.4
	愛 知	23.5	大 阪	221.5	宮 城	102.7	愛 知	13.8	宮 城	95.5
	神 奈 川	21.8	長 野	210.9	鳥 取	102.6	東 京	13.7	鳥 取	83.4
	東 京	21.8	東 京	188.8	長 崎	92.9	神 奈 川	13.7	山 形	72.2
(最長—最短)	23.8		227.1		127.2		7.7		420.8	

注: 1) 平均在院日数の計算式は4頁を参照。

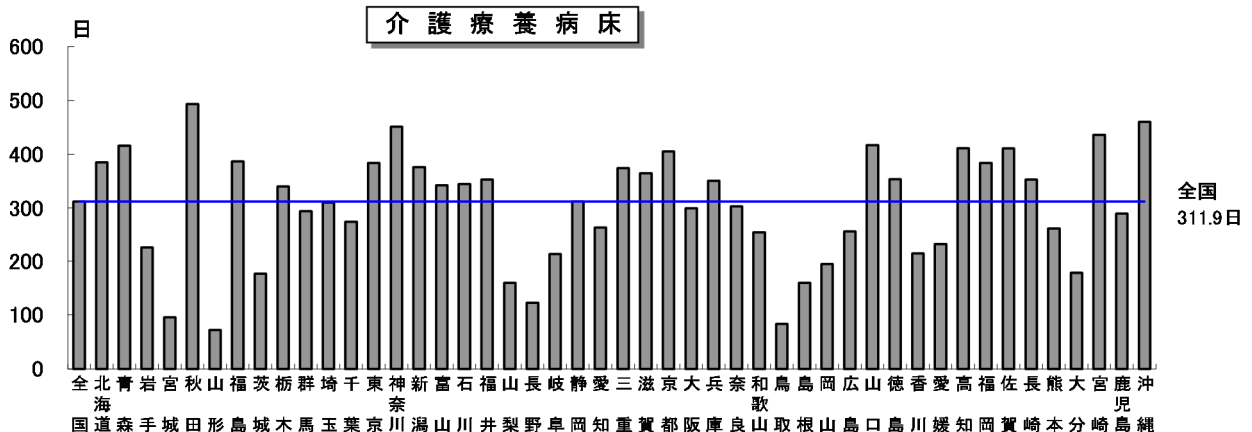
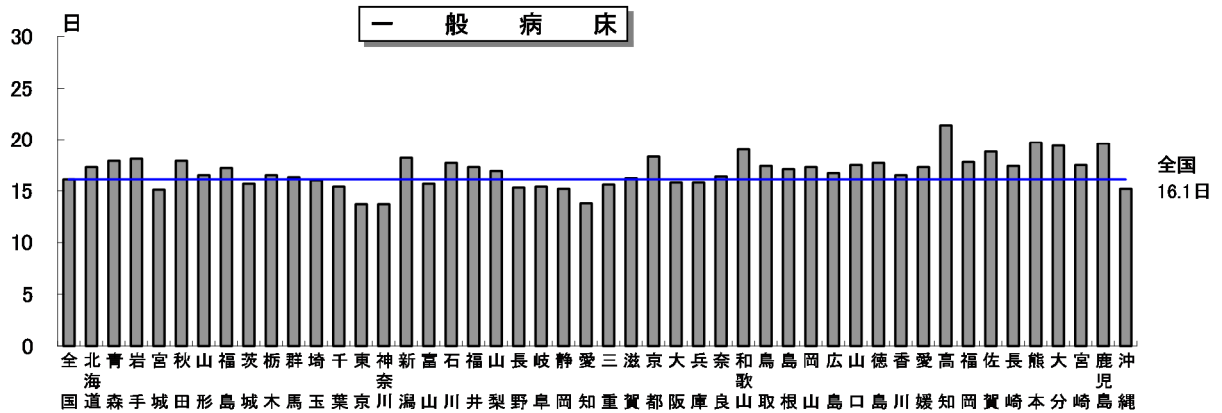
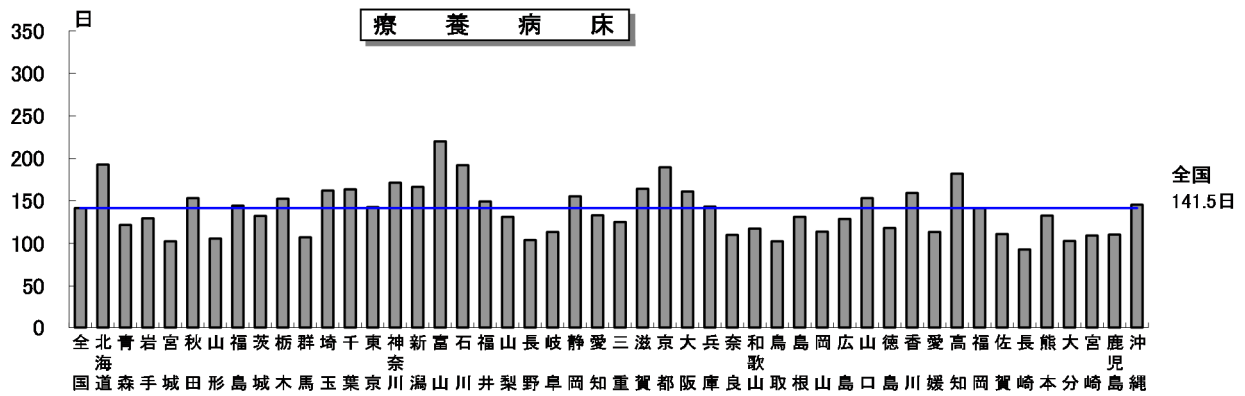
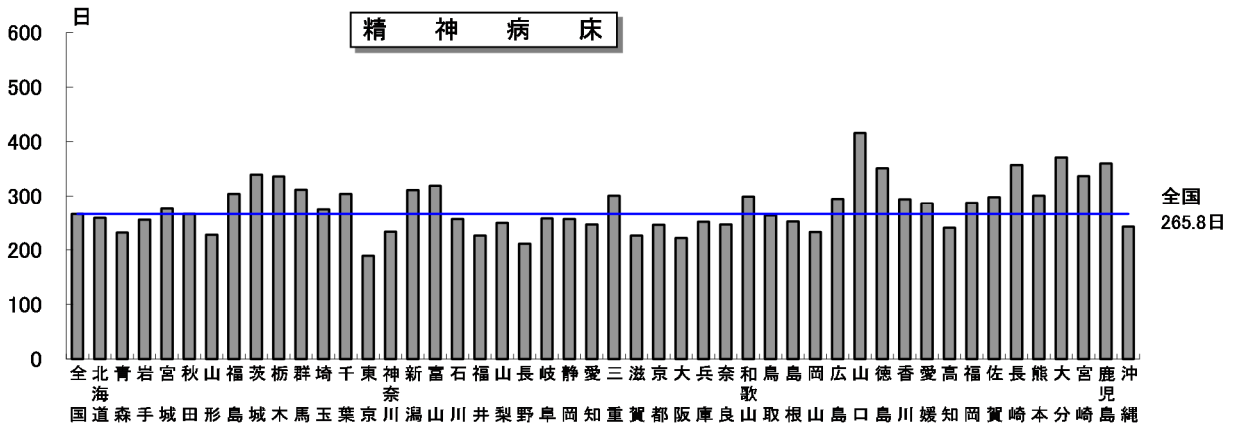
2) 小数点第1位の数値は、小数点第2位を四捨五入して表示している。

3) 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。

図6 病院の都道府県別にみた平均在院日数



注: 平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設(尾三医療圏)は、報告がなかったため除いて集計した。



注：平成30年7月豪雨の影響により、平成30年7月分、8月分の報告において、広島県の病院1施設（尾三医療圏）は、報告がなかったため除いて集計した。